

平成30年第4回教育委員会定例会

( 2月22日開会 )

台東区教育委員会

日 時 平成30年2月22日(木)午後2時45分から午後3時30分

場 所 教育委員会室

出席委員

教 育 長	矢 下 薫
教育長職務代理者	樋 口 清 秀
委 員	高 森 大 乗
委 員	垣 内 恵美子
委 員	末 廣 照 純

説明のために出席した事務局職員

事 務 局 次 長	田 中 充
庶務課長兼事務局副参事事務取扱	事務局参事
	岡 田 和 平
学 務 課 長	山 田 安 宏
児 童 保 育 課 長	佐々木 洋 人
放課後対策担当課長	福 田 兼 一
指 導 課 長	屋 代 弘 一
教育改革担当課長 (兼 教育支援館長)	小 柴 憲 一
生涯学習課長	小 川 信 彦
スポーツ振興課長	廣 部 正 明
中央図書館長	齊 藤 明 美

日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 庶務課

- ア 浅草こども歌舞伎会が実施する事業に対する後援について
- イ 寄付物品の受領について

(2) 生涯学習課

- ウ 平成29年度台東区区民文化財台帳登載及び指定について

(3) スポーツ振興課

- エ A G T浅草ゴロゴロサンダースが実施する事業に対する後援について

2 報告事項

( 1 ) 庶務課

ア 「区長への手紙」等にかかる教育委員会の対応について

( 2 ) 指導課

イ 学習支援講座「ステップ・アップ」について

( 3 ) 教育改革担当

オ 学びのキャンパスプランニング事業について

4 その他

午後2時45分 開会

矢下教育長 ただいまから、平成30年第4回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、樋口委員にお願いをいたします。

ここで傍聴についてお諮りいたします。

本日の教育委員会に提出される傍聴願については、これより許可いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

矢下教育長 ご異議ございませんので、傍聴については許可をいたします。

## 日程第1 教育長報告

### 1 協議事項

#### (1) 庶務課 アイ

矢下教育長 それでは、日程第1、教育長報告に入ります。

まず、協議事項を議題といたします。

事務局各課ごとに説明をお願いします。

はじめに、庶務課のア及びイについて、庶務課長、説明をお願いします。

庶務課長 それでは、はじめに、協議事項ア、浅草こども歌舞伎会が実施する事業に対する後援についてご説明いたします。資料1をご覧ください。

事業の名称でございますが、「体験発表こども歌舞伎公演」でございます。実施日時は、本年3月26日の12時30分と、午後3時30分の2回公演でございます。実施場所は、浅草神社の神楽殿でございます。入場者はおよそ600名を見込んでおります。

事業の目的でございますが、江戸歌舞伎体験教室で習得した成果を発表するとともに、新たな体験者を募集したいということでございます。

裏面をご覧ください。入場料等につきましては、徴収する予定はございません。

また、項番11でございますが、本事業は、文化庁の子どもゆめ基金を活用しております。文化庁が後援となっております。

説明は以上でございます。後援名義の使用につきまして、ご決定くださるようお願いいたします。

続きまして、協議事項のイ、寄付物品の受領についてでございます。

本件は、寄付物品の見積もり価格が50万円を超えるために委員会にお諮りするものでございます。資料2をご覧ください。

東上野六丁目にお住まいの雨宮弘枝様から、上野小学校に備品としてグランドピアノと演台カバーを頂戴いたしました。

説明は以上でございます。受領についてご決定くださるようお願いいたします。

矢下教育長 ただいまの説明につきまして、まずは協議事項、庶務課のアについて、何

かご質問はございませんか。

(なし)

矢下教育長 次に、協議事項、庶務課のイについて、何かご質問はございませんか。

(なし)

矢下教育長 それでは、庶務課のア及びイについては、協議どおり決定いたしたいと思  
います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定をいたしました。

## (2) 生涯学習課 ウ

矢下教育長 次に、生涯学習課のウについて、生涯学習課長、説明をお願いします。

生涯学習課長 それでは、平成29年度台東区区民文化財台帳登載及び指定についてご説  
明申し上げます。資料3をご覧ください。

2月6日に教育委員会の諮問機関である台東区文化財保護審議会から、台東区区民文化財  
として指定が2件、台帳登載及び指定として1件、台帳登載として4件の答申があったもの  
でございます。

それでは、内容についてご説明をさせていただきます。

まず、台東区区民文化財指定でございます。

考古資料としまして、台東区教育委員会が所有いたします、谷中三崎町遺跡(正運寺  
跡)第34号墓出土埋葬資料でございます。資料の裏面、2ページをご覧くださいと思  
います。

本資料は、谷中にも在住していた著明な儒学者である室鳩巢の弟子であり、幕臣で文人  
でもある井戸甘谷の埋葬関係資料として保存が良好な資料でございます。

次に、歴史資料として、宗教法人榎寺が所有いたします、榎寺縁起 附 榎寺縁起碑で  
ございます。資料は3ページになります。

榎寺縁起4巻及び榎寺縁起碑は、榎寺の歴史を知る重要な資料であると同時に、年代が  
経るに従いまして、加筆・整理・編集される過程で、縁起の記述内容が変貌していくさま  
を理解させるとともに、江戸の文化人として著明な石川雅望、栗原信允が制作に携わった  
縁起絵巻を含むものとして、区内でも貴重な遺品の一つでございます。

続きまして、台東区区民文化財台帳登載及び指定でございます。

無形文化財(工芸技術)の江戸扇子作りでございます。資料は4ページになります。

保持者は荒井良夫氏と荒井信夫氏でございます。

江戸扇子はほとんど全ての工程を1人の職人が担当いたします。明治時代から浅草に店  
舗を構える東扇堂は、代々伝統的な技法を継承して、扇子を製作してきました。主に日本  
舞踊・歌舞伎で使用される扇子の注文製作を行い、見本をもとに、図案・配色・大きさ・

材質など、顧客の多様な希望に応じております。

4代良夫氏と5代信夫氏は、材料の選定から完成に至るほとんど全ての工程を1人で行うことができ、伝統的な江戸扇子の製作技術を伝えており、貴重でございます。

続きまして、台東区区民文化財台帳登載でございます。資料は5ページになります。

まず、有形文化財（彫刻）として、宗教法人報恩寺が所有いたします、木造聖徳太子立像でございます。

本像は、報恩寺が創建された横曽根、茨城県の常総市でございますが、こちらの地にあったときから、当寺でまつられてきました。その作風や技法から、鎌倉時代の制作と考えられ、区内はもちろん都内でも最古の作例に属し、すぐれた作品の一つとして重要で、当時の信仰や寺歴を裏づける資料としても貴重でございます。

次に、有形文化財（考古資料）として、台東区教育委員会が所有しております、上野忍岡遺跡群上野桜木一丁目15番地点出土資料でございます。資料は6ページとなります。

本資料のうち、古墳時代中期の資料は区内では希少であり、さらに区内の古代遺跡においても玉類が出土することは少なく、多種類の古墳時代中期の土器が一括して発見されている上に、玉類が多数出土していることは、区の遺跡としては貴重なものでございます。

次に、有形文化財（歴史資料）としまして、宗教法人念佛院が所有しております、髪繡六字名号でございます。資料、7ページになります。

本資料は、念佛院の開山究諦が、江戸に下向した際、当麻寺念仏院より招来をしまして中将姫所縁の什宝の一つとして推定され、中将姫が自らの毛髪で刺繡をしたものと伝えられております。寺院の創建由緒を物語る遺品であると同時に、その制作年代は室町時代後期と考えられ、近世以前のものとして貴重な作品でございます。

最後になります、資料は8ページになります。有形民俗文化財、古文書として、株式会社吉徳が所有いたします、吉徳これくしょんでございます。

吉徳これくしょんは、人形玩具研究の第一人者でありました吉徳十世山田徳兵衛が昭和初期から研究資料として収集した品々を母胎としております。現在、吉徳資料室が資料の保存と活用に努めておりますが、今後の長期的な保存・活用のため、資料の種別ごとに目録を作成した上で、順次、台東区区民文化財としているものでございます。

なお、当これくしょんは、平成27年度には和書581件と一枚刷237件、28年度においては芝居番付類800件が台東区区民文化財台帳に登載しております。

以上の文化財材料登載及び指定により、今ご報告をいたしました7件を含め、台東区区民文化財台帳登載数は、今回の登載指定を含めまして全体で225件、そのうち指定文化財話は61件となります。

今後とも区内文化財の保存及び活用を図ってまいりますので、よろしく願いいたします。

ご説明は以上でございます。

矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

垣内委員 保存や修復などのための助成金の補助制度などはあるのでしょうか。

生涯学習課長 区で指定した文化財の補助制度はございますが、こちらのほうで報告させていただいているものにつきましては、基本的にそれぞれのお寺ですとか社寺が所有をしておりますので、そちらの所有者の方が管理をされております。なお、区の補助金の申請は今のところございません。

樋口委員 無形文化財というのはその方が亡くなると本当になくなってしまうもので、この方々の作品を残さないのはもったいないという感じがします。特に工芸技術の無形文化財に関しては、歴史的に大変な価値のあるものとして何らかの作品を区が遺産として残しておくのも手ではないかと思いたいますがいかがでしょうか。

生涯学習課長 まず、今回の江戸扇子の方につきましては、後継者の方がいらっしゃいまして、技術的には今後も継続をされていくと考えております。

また、現在、区のほうでは写真や映像を記録保存という形でとらせていただいております。個々の品につきましては、それぞれご商売でやられている関係で、お買い上げになった方が、場合によっては保存・活用をしていただけたらと考えております。区としましては、原則的には、映像等での記録保存と考えております。

垣内委員 国の場合、後継者育成のための助成金が用意されておりますが、区のほうでは用意しないという理解でよろしいでしょうか。

生涯学習課長 現在、この文化財という部分では、今申し上げた後継者育成のための助成金はございませんが、区の産業分野の関係で様々な制度がございますので、区全体の中で対応している状況でございます。

矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

矢下教育長 それでは、生涯学習課のウについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

### (3) スポーツ振興課 エ

矢下教育長 次に、スポーツ振興課のエについて、スポーツ振興課長、説明をお願いします。

スポーツ振興課長 それでは、スポーツ振興課、AGT浅草ゴロゴロサンダースが実施する事業に対する後援についてご説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

本件は、AGT浅草ゴロゴロサンダースが実施する、「第3回アメリカンフットボール・デー in 台東区」の実施についての後援名義使用申請でございます。

実施日時は、本年4月15日日曜日。場所は、台東リバーサイドスポーツセンターの陸上

競技場です。参加の対象は、区内在住・在学・在勤の子供から大人まで、多くの方が参加する大会です。また、浅草ゴロゴロサンダースと交流がある江戸川区のチームも参加予定でございます。

事業の目的は、スポーツを通じた国際教育の実現、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を享受するための青少年育成・教育の一環として実施いたします。

恐れ入ります、資料の裏面をご覧ください。項番6、事業内容につきましては、記載のとおり、警視庁のアメリカンフットボールチームや、明治大学のアメリカンフットボールチームなどを招き、体験会や交流会を実施いたします。

また、項番11、他団体への共催・後援の依頼の有無でございますが、区への後援依頼が、平成28年と平成29年にございました。

その他、団体概況、役員名簿、予算書、記録写真、前回チラシを添付しております。

本件は、台東区で活動しているスポーツチームが、子供たちのスポーツ振興や健全育成に寄与するものでございますので、よろしくご協議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。

矢下教育長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

矢下教育長 それでは、スポーツ振興課の工については、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

矢下教育長 ご異議ございませんので、協議どおり決定をいたしました。

## 2 報告事項

### (1) 庶務課 ア

矢下教育長 次に、報告事項を議題といたします。事務局各課ごとに報告をお願いします。はじめに、庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いします。

庶務課長 それでは、「区長への手紙」等にかかる教育委員会の対応についてご説明いたします。資料5をご覧ください。

本年1月分といたしまして、中央図書館取扱分が1件、児童保育課取扱分が3件ございました。

まず、中央図書館取扱分でございますが、図書館の蔵書についてということで、ある方が特定の国への敵対、あるいは差別を支持しているように感じられ、不適切であるように思うという意見でございました。

児童保育課取扱分の1件目は、福祉サービス第三者評価についてということで、全ての認可保育園、こども園で福祉サービス第三者評価を実施してほしい。他区に比べて保育園の評価を実施している園が少ないというご意見でございました。

資料の裏面をご覧ください。

2点目は、待機児童対策として幾つかの場所などを提示されて、そこに保育園を整備してはどうかというご意見でございました。

3点目でございますが、こどもクラブの申込人数について、保育園と同様に第一希望の申込人数、空き人数をホームページで公表してほしいというご要望をいただいたところでございます。

説明は以上でございます。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

矢下教育長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承を願います。

## 2 報告事項

### (2) 指導課 イ

矢下教育長 次に、指導課のイについて、指導課長、報告をお願いします。

指導課長 資料6をご覧ください。私からは、今年度の学習支援講座「ステップ・アップ」についてご報告申し上げます。

本事業の目的は、台東区立中学校生徒の中で基礎学力及び学習習慣の定着が必要かつ学力向上を図ろうとする意欲を持つ生徒に対して、民間の教育事業者を活用した補充学習を行っております。

項番2、本年度の現在の在籍生徒数になっております。合計の中の括弧は、出席生徒を在籍生徒で割った、年間を通しての現時点での出席率になっております。

項番3、3年生につきましては入学試験が終了いたしましたので、本講座につきましても2月10日をもって終了しております。

1年生、2年生につきましては、3月24日まで継続して実施してまいります。

項番4、講師は昨年度に引き続き、修明学園修明塾の講師となっております。

今年度の成果につきまして、2点ございます。

まず、一つ目につきまして、(1)確認テストの欄をご覧ください。毎回の講座の始めの時間を活用して、前回の講座で学んだ内容について、その定着を図るテストを実施しております。このテストの結果を80%以上の生徒、50%以上～80%未満、50%未満という形で整理したものがこちらの表になっております。

ほぼどの学年も、どの教科においても、8割以上の正答率が4割、また、50%以上の正答率というところで見ると8割以上の生徒がこの基準を超えております。課題といたしましては、特に第一学年の英語、50%未満の生徒が19名となっており、これは1年生の生徒数に対して4割弱の割合を占めております。

この生徒たちの個別の状況を見ますと、小学校時代のローマ字の習得が不十分であるた

めにアルファベットの表記が十分でないなどといった課題が見受けられます。この1年生については、引き続き講座が実施されておりますので、丁寧な指導を進めていきたいと考えております。

成果の二つ目ですが、毎回、受講アンケートを実施いたしました。裏面をご覧ください。

主に五つの要素について5段階で自己評価を行い、毎回の結果について集計したものがこちらの結果です。(ア)の「説明はいかがでしたか」という質問に対し、1年生で7割、ほかの学年で8割を超える生徒から、肯定的な自己評価の回答を得ております。

(イ)講座の進み具合、これは早さについてですが、「ちょうどよい」と回答している生徒の割合が太い四角囲みの状況となっております。

(ウ)学習内容の難易度についてですが、「ちょうどよい」と回答している四角囲み、また、ほかの項目の割合を示しております。

(エ)学習内容の理解について、これは全学年において、8割を超えて肯定的な自己評価の回答を得ております。

(オ)学習意欲について、こちらは1年生で7割弱、他の学年で8割を超える回答を得ております。

これは自己評価ですので、本人の意識によるところも多くありますが、こういった基礎学力の定着を図る子供たちにとっては、この情意面を伸ばしていくことも重要なことではないかと考えております。

また、岩倉高校の生徒さんたちにご協力いただき、第一学年、第二学年については学習ボランティアとして個別の指導の充実も図ってきたところでございます。

ご報告は以上でございます。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

高森委員 このステップ・アップ講座は、区内何箇所で開催されていて、1カ所当たりの平均の受講者数はどのくらいになるのでしょうか。

指導課長 会場についてでございますが、最初は区役所の10階会議室で行いました。その後、忍岡中学校を会場として行っております。学年ごとに時間に差をつけて行っておりますので、会場は1つでございます。

高森委員 もう一つ伺います。アンケートのとり方について、毎回受講後に行っているということですが、可能であれば別の機会に行った方がよいと思うのですがいかがでしょうか。受講してすぐにアンケートをとるとなると、本音を書きにくいところもあるのではないのでしょうか。プラス意見が比較的多いのは、そのようなことも影響しているのかなと思うのですがいかがでしょうか。

指導課長 委員ご指摘のとおり考慮しなくてはならないと考えておりますので、生徒たちに対しては、ありのままで書くことを伝えていきます。

あわせて、特に(イ)の進み具合と(ウ)の難易度について、結果の数値が下がってくる状況が見られる場合には、すぐにその内容に対して手を打つということも、目的の一つ

としております。

高森委員 わかりました。

垣内委員 このアンケートは無記名で行うのでしょうか。

指導課長 個人の変移を追うというところもありますので、これは記名式で行っております。

垣内委員 アンケートはこの講師の方ではなく、指導主事の方に提出するということがよろしいでしょうか。

指導課長 はい。事務局で回収を行っております。

垣内委員 この(オ)の学習意欲のところですけど、(エ)の学習内容が理解できたというのが半数以上いる中で、学習意欲はいま一つ伸びていないのはどういう理由だとお考えでしょうか。

指導課長 学習内容がわかるという経験が重なれば、当然ここの部分も伸びていくところかと思いますが、やはり、その定着の度合いとか、いわゆる成功体験の積み重ねというところで、この部分については伸びてくるのではないかと考えております。

樋口委員 出発点がみんな同じではないので、一定の点数をとっていながら補習という形で来る子供や、進学準備のために来る子供、授業になかなかついていけない子供など様々で、難しい比較ではあると思います。

こういうパターンならばこうなるといった情報を蓄積しながら、来年、再来年の工夫をされたほうがよろしいと思います。

垣内委員 去年のこのデータについては、改善方向にあるように見受けられるのですが、そういう理解でよろしいでしょうか。あと、出席率が6割前後なのですが、これは希望をとって、本人の希望で出席するというところでエントリーをしていただいているにもかかわらず、なぜ出席しないのでしょうか。あわせてお聞きしたいと思います。

指導課長 まず、昨年度の結果と比較して、伸びが見られるというところにつきましては、このアンケートの回収率が低かったということもあり、また、そのアンケートで自己評価する期間があまりにも長かったということもあり、その改善ということで、今回、この毎回のアンケートを確実に回収を行っています。その辺りも影響しているのかと思います。

出席率につきましては、どうしても学校の行事と重なって出席できない回があったり、また、この参加している子供たちの中で部活動を同時に行っているお子さんたちもいますので、大会への参加などがそういった出席率のところに影響を及ぼしていると考えております。

高森委員 この項番5番の成果の(1)の確認テストについてですが、これは最終的に集計された数字しか出ていないのですが、個別の細かな部分もとっていらっしゃるのでしょうか。例えば、英語も数学も積み重ねで学習の定着が図れていく教科だと思うのですが、例えば、1年間を通してどのような変化が見られたかというのを棒グラフなどで表せたりで

きないのでしょうか。また、それぞれ教わる領域があると思いますが、その領域ごとの習熟度みたいなものがわかるような分析など、その辺りはどうなのでしょう。

指導課長 実際に毎回の回収した小テストにつきましては、授業を行っている事業者が分析を行うために事業者のほうで回収はしております。ご指摘いただいた個人の経年の変化であったり、領域ごとの傾向というのは、つかんでいく必要があると思いますので、そういったことについても今後、取り組んでいきたいと考えております。

矢下教育長 よろしいでしょうか。

(なし)

矢下教育長 それでは、指導課のイについては、報告どおり了承を願います。

### (3) 教育改革担当 ウ

矢下教育長 次に、教育改革担当ウについて、教育改革担当課長、報告をお願いします。

教育改革担当課長 それでは、資料7のご説明に入る前に、まず、本事業の報告に至った経緯についてご説明申し上げます。

教育改革で進めております「魅力ある教育活動」につきましては、9月の本委員会でご報告申し上げ、概ねどのような取り組みを行っているかということをご理解いただいたところですが、この学びのキャンパスプランニング事業につきましては、これまで具体的にご報告する機会がなかったことから、今回ご報告申し上げます。

それでは、資料に沿ってご報告いたします。

項番1、事業目的ですが、本事業は台東区学校教育ビジョンの目標である、台東区の歴史や文化伝統に誇りをもち、地域を愛し、自ら行動できる『ひとつづくり』を目指し、平成25年度より開始いたしました。

具体的には、台東区内の博物館や美術館、区に縁の企業や団体、学識経験者などと連携して企画した複数の教育プログラムの中から、区立学校園が希望するものを選択し、教育課程に位置づけて実施するものでございます。

この教育プログラムのことを、この後も再三出てきますが、プランというふうに読んでおります。

項番2、これまでの実績についてです。連携先、プラン数、上から二つ目でございますが、これは年々増加しており、開始当初の25年度と本年度を比べますと、2倍以上となっております。

また、表の3段目、実施プラン数は、今年度、見込みではございますが149となっており、こちらも増加しております。執行率につきましても、28年度に90%を超えるようになり、今年度は97.1%の見込みでございます。

項番3、実施の多い連携先、よく選ばれるというものについて表にまとめました。この表の見方ですが、上から27年度、28年度、29年度となっており、各年度ごとに上段が園、

下段が小中学校となっております。表の左側から多く選ばれた順になっておりまして、1位という表現かどうかはございますが、一番多いもの、続いて、2位、3位。それぞれ括弧の中は、選ばれた回数を示しております。

例えば、園で申し上げますと、東京文化会館が3年連続1位、縦に見ていただきますと、全て東京文化会館となっております。29年度には鼓楽庵が同数で1位に並んでいるという見方になります。

小中学校でいいますと、東京都助産師会が3年連続1位となっております、29年度につきましては、恩賜上野動物園も同数となっております。

表の見方については以上でございます。

続きまして、別紙の表をごらんください。こちらが来年度、すなわち30年度の連携先別のプランの一覧となっております。

1枚目は無償のプラン、無償のプランというのは予算がかからない、お金がかからないプランでございます。2枚目は、両面となっておりますが、こちらが有償プラン、予算が必要となるプランでございます。

それでは、プラン一覧の1枚目にお戻りください。

来年度の新しい連携先として、下のほうの17番、一般社団法人台東、これは125と書いて「わんにゃんご」と読むんですが、125小さな手、これが一つでございます。

それからもう一つが、2枚目の裏面、44番、表の一番下、日本数学検定協会、こちらが連携先として加わってまいりました。

また、表に黒の星印の記載があるのが、30年度に新しく追加されたプランになります。

例えば、1枚目の3番、国立西洋美術館ですけれども、こちら黒印のところは建築を見学するプランでございます。ようやくこの建築を見学するプランというのが実現いたしました。

2枚目、裏面の37番、日本声楽家協会、こちらオペラ歌手が指導をして合唱のレベルアップをするプランというものが加わりました。

その下の38番の弁護士会、こちらマニフェスト作成などが新規プランとして入ってきております。

現在、30年度にどのプランを実施したいかについて、各学校園に希望調査をとっているところでございますが、来年度も今年度と同様に計画的に実施してもらおうよう進めてまいります。

報告は以上でございます。

矢下教育長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

垣内委員 この有償のプランですが、このときの予算は、どこから、どういうふうに出されるのでしょうか。

教育改革担当課長 こちら事務局のほうからのお支払いをさせていただいております。

高森委員 資料7の項番2、これまでの実績のところを実施プラン数と予算執行率と書いて

であるのですが、この実施プラン数の中で、無償のプランと有償のプランとそれぞれのぐらゐの割合となっているのでしょうか。

教育改革担当課長 28年度、昨年度の実績ですが、無償のプランが合計で69プランで、有償のプランは70プランとなっております。今年度は見込みでございますが、無償のプランは72プランで、有償のプランは77プランとなっております。

高森委員 その中で、実際に利用されたプランは、例えば、割合はどのようになっているのでしょうか。無償のプランがどのぐらゐ利用されていて、有償のプランがどのぐらゐ活用されているかということはわかりますでしょうか。

教育改革担当課長 若干、有償プランのほうが多くなっておりますが、比率でいいますと、28年度は50.4%が有償プラン、29年度は見込みですが、51.7%が有償プランということになります。

樋口委員 有償プランの一番最後の44番の算数体験プログラムについてですが、学校の指導要領の中での算数の勉強のほかにこのようなことをやるのは非常に有意義だと思うのですが、どういうプログラムなのか、簡単に内容を教えていただけますか。

教育改革担当課長 こちらの数学検定につきましては、今年度、ある小学校で試験的に、魅力ある教育活動に位置づけて実施したのを拝見しに行きました。

この算数トライアスロンというのを見たのですが、各四つぐらゐのブースに分かれていまして、それぞれ種類の違う問題が出ています。子供たちはどこのブースに行ってもいいのですけれども、そこから問題を持ってきて、頭を使って解くものもあれば、パズル的に解くものであったりを解きまして、丸をもらい、最終的に4ブースぐらゐを回るとチャレンジ問題みたいな形で取り組んでいくと、そういう内容でした。

樋口委員 それは幾何と解析という、算数の数字のものなのか、それとも図形をどうするということなのか、それとも全部合わせているのでしょうか。

教育改革担当課長 いわゆる幾何学的なものもございますし、あるいは数量的なものもございます。また、関数的な内容のものも入ってきております。

樋口委員 例えば、数学、算数トライアスロンというと、算数ですから、中学生にははまらないような感じがするのですが、それはあまり問題ないのでしょうか。

教育改革担当課長 現在、数学検定協会のほうでも幾つかのプランを持っているのですが、今現在、提供できるものということで、小学生向けのものというのがあるので、そちらを今回プランとして掲載いたしました。

高森委員 先ほどの続きですが、予算の執行率が、ほぼ97%、100%近くが執行されているということですが、各園や学校の先生方に聞くと、これは非常に大変ありがたいプランニングで、有効に活用させていただいているということですから、予算がもう少しつくのであれば、多少有償プランを増やせるのかなと思います。そこで、今回の資料にはないのですが、各校園ごとに大体どのぐらゐの分量でこのプランニングを利用されているのでしょうか。

教育改革担当課長 学校園によって実施する数はかなり違うのですが、小学校でいいますと、例えば、多い小学校は7プランぐらいを実施しております。

委員ご指摘の有償プランが限界に来ているのではないかとということですが、有償のプランについては2区分までと制限をしておりますので、七つ実施しているところというのは、いわゆる残りは無償のプランを、科学博物館に行ったり、上野動物園に行ったりというふうにして実施しております。

樋口委員 これは確認ですが、この園はあくまで公立の園が対象ですね。

教育改革担当課長 対象となっているのは、公立の保育園、公立の幼稚園、それから公設公営の石浜橋場こども園が対象になっております。

矢下教育長 よろしいですか。

(なし)

矢下教育長 それでは、教育改革担当課のウについては、報告どおり了承を願います。

### 3 その他

矢下教育長 その他、何かございますでしょうか。

(なし)

矢下教育長 以上をもって、本日予定された議事日程は全て終了いたしました。

これをもちまして本日の定例会を閉じ、散会いたします。

午後3時30分 閉会